

中期経営計画

(令和4～5年度)

令和4年3月

(有) やくの農業振興団

中期経営計画【夜久野振興団】
(2022～23年度)

1 はじめに

(1) 団体の設立目的

- ・不耕作田を発生させず「農家農村を守る」ために第三セクター方式で平成10年に設立。

(2) これまでの取組

- ・設立当初は転作作物(黒大豆、小豆、蕎麦等)での事業展開を行ってきた。
- ・2010年度からは、「蕎麦による6次産業化」に取り組んでおり、売上向上のため市場が求める商品提案、開発に注力してきた。
- ・また、売上向上のため酒造好適米「祝」と「小豆」の契約栽培を継続し、持続可能な事業運営として、安定収入(新規事業)の確保に取り組んでいる。

(3) 中期経営計画策定の趣旨

「福知山市が策定した『外郭団体への関与に係る方針』に基づき、設立目的の達成に向けた取組や財務・組織体制などについて、中期的な視点で目標を定め、効率的・効果的な団体経営により公共サービスの担い手として期待される役割を果たすため、中期経営計画を策定し、具体的な数値目標を掲げ進捗管理を行う。」

(4) 計画期間

- ・2022～23年度(2年間)

2 現状と課題

(1) 団体を取り巻く社会状況

- ・農家の高齢化、農業の担い手不足や米価の下落等から作り手のない農地の増加が見込まれるなかで、第3セクターとして事業を進めてきたが、市町村合併や行政改革が進められ、事業の廃止や縮小、他社との競合などで事業等が減少している。

(2) 財務状況

ア 収益に関する項目

【収益に関する項目】

項目	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	実績(千円)	割合(%)	見込(千円)	割合(%)	予算(千円)	割合(%)
経常収益	43,110		52,083		50,000	
内市委託金						
内他支出金						
内自主財源	43,110		52,083		50,000	
経常外収益	6,329		4,554		5,000	
収益計	49,439		56,637		55,000	

イ 経費に関する項目

【経費に関する項目】

項目	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	実績(千円)	割合(%)	見込(千円)	割合(%)	予算(千円)	割合(%)
収入原価計	27,253		35,625		33,178	
内期首棚卸	4,081		8,127		7,697	
内労務費	7,997		8,430		8,000	
内資材費	9,594		8,973		9,250	
内外注費	5,708		9,676		5,000	
内経費	8,000		8,114		8,828	
内期末棚卸	-8,127		-7,697		-5,600	
一般管理費計	17,215		17,583		18,212	
内役員報酬	4,600		3,380		4,600	
内給料手当	5,165		5,339		5,500	
内福利厚生	2,452		2,770		3,000	
内公租公課	1,898		3,044		2,000	
内修繕費	271		106		500	
内諸経費	2,829		2,944		2,912	
その他経費計	551		532		556	

内営業外費用	345		326		350	
内法人税充当金	206		206		206	
経費計	45,019		53,741		51,946	

ウ その他に関する項目

エ 貸借対照表

・資産（流動資産・固定資産・資産計）、負債（流動負債・固定負債・負債計）、純資産計

*貸借対照表の貼り付け（令和3年3月31日）

（3）主な事業の現状と課題

- ・農地管理事業
- ・蕎麦農作業受託
- ・蕎麦等加工品販売事業

3 経営方針

自律的に継続して安定した運営を行うため、経営の効率化・安定化を図ることを主眼に置き、特に以下の4点に留意して定めることとします。

①経営の効率化

- ・事業評価や事業計画のモニタリングにより、事業ごとに適切に自己評価を行うこととする。
- ・団体の経営改善に資する自主事業や収益事業を積極的に行うこととする。

②組織・運営体制

- ・自律的に運営するため、役員の数、構成や事務局体制は、団体の規模、事業内容等にふさわしいものとする。
- ・役員の登用については、職に求められる責任を十分考慮し、企業経営や団体運営に精通した人材や専門的知見を有する人材を求めるなど、多様な人材の活用を図ることとする。
- ・独立した事業主体として経営責任を明確にし、自らの責任において事業を

実施するものとする。

- ・経営状況や組織等に関して、市民への説明責任を果たす観点から透明性を確保することとする。
- ・業務に関して取得した個人情報適切に管理することとする。

③資金運用及び出捐金の活用

- ・出捐金についても、活用する場合には具体的な活用方法や計画と合わせ、新たな積立方法など財務目標を明確にすることとする。

4 具体的な取組及び成果指標

【取組】

蕎麦を中心として、売上向上のため市場が求める商品提案、開発に取り組む。
また、酒造好適米「祝」と「小豆」の契約栽培を継続するとともに新規事業も含め、安定収入の確保に取り組む。

【成果指標①】

蕎麦作付受託面積：

酒造好適米受託面積：

小豆作付け面積：

(単位/a)

年度	令和2年	令和3年	令和4年
蕎麦作付受託面積	690	530	663
酒造好適米受託面積	154	44	171
小豆作付け面積	47	280	245

【成果指標②】

蕎麦加工品売上額：

祝売上額：

小豆売上額：

(単位/千円)

年度	令和2年	令和3年	令和4年
蕎麦加工品売上	21,102	23,193	26,000

そば (玄そば)	810	2,592	5,000
祝売上	1,377	270	2,200
小豆売上	662	1,069	1,300